

令和2年度 2学期 始業式 校長のことば

令和2年8月27日（木）

校長 塩野 義和

さあ、2学期最初の朝の挨拶を、校長先生と一緒にしましょう。

先に私が挨拶をしますから、後に続いて下さい。いきますよ！「おはようございます。」放送室まで元気な挨拶が聞こえてきました。「ありがとう！」

さて、校長先生の話の前に、富田林市の市長さんと教育長さんから、『コロナ禍にある富田林市の子どもたちへのエール』という題のメッセージが届いていますので、校長先生が代表して読みたいと思います。しっかり聴いてください。

（メッセージは、富田林市役所 web ページに掲載されていますのでご覧ください。）

次に、校長先生から皆さんに話をします。

始めに、今年の夏休みは、いつもより短かったけれど、大きな事故やケガ、病気になった人もなく、少し体調崩したという人も今は回復しているとのことで、とてもうれしく思います。また、夏休みの間に、いろいろな出来事があったと思いますが、クラスなどでお互いにお話しできればいいなあとも思います。楽しかった事、うれしかった事もあると思いますが、少し悲しかった事、心配だった事などもあったかもしれません。どんなことでも、みんなで喜び合い、そして支えあえる仲間関係をこれからも築いていって欲しいものです。

次に、先ほどのメッセージにもありましたが、校長先生からも、みんなに感謝、「ありがとう！」を言いたいです。

1つ目の「ありがとう」は、校長先生宛に暑中見舞いのはがきを出してくれた子がいたことです。とてもうれしかったので、喜志小だより9月号に書かせてもらいました。ぜひおうちの人と一緒に、喜志小だよりを読んでくださいね。

2つ目の「ありがとう」は、地域の方々と一緒に、ボランティアで喜志のまちを掃除してくれた喜志小の子どもたちがいたことです。このことは、富田林市長さんも知っておられて、「ほめてあげてくださいね」と連絡をいただきました。

3つ目の「ありがとう」は、校務員の石田さんと2人で、運動場の水たまりがでやすいところを掘って、水はけをよくする工事をしていたのですが、学童に来ている子とその子のお母さんから、「子どもたちのために暑い中、ありがとうございます。」という声をかけていただき、更には、冷たい飲み物をいただいたことです。

校長先生は、これからも、感謝の気持ちを持って生活していきます。1学期の始業式にもお話しましたが、みなさんも、『ありがとう！』の気持ちを大切にしてくださいね。

最後のお話です。2学期が始まりましたが、少し不安や心配のある人もいるのではないのでしょうか。大丈夫です。友達や先生と一緒に、心も体もゆっくりと歩いていきましょう。そして、2学期も、“さあ、やってみよう！『喜志一心』”みんなで喜志小生活をしよう。

これで、校長先生のお話を終わります。

今日も、しっかり聴いてくれて「ありがとう！」

今回も放送で行いました。やっぱり、みんなの顔（反応）を見ながら、話をする方がいいなあ！ そして、みんなで集まりたいなあ。

もうしばらく辛抱します。 “さあ、やってみよう！『喜志一心』”